



# 雨ニモマケズ

6月27日

## 「福中のサツキが教えてくれたこと」

校長 原 直樹

福岡中学校にはたくさんのサツキがあります。南校舎の南側面、校門モニュメント周り、グラウンドと駐車場の間、中庭、技術室前、体育館前等、どうしてこんなにもたくさんサツキがあるのでしょうか。高山中、福岡中、田瀬中の3校が合併して今の福中が建てられたときの外構工事の時に植えたものだと考えられます。地域の方で、その当時のいきさつをご存じの方がいらっしゃったら、ぜひ教えていただきたいものです。

我が家にも、サツキがありますが、あまり深く考えず、毎年適当に剪定をしてきました。しかし、この福中に赴任して、たくさんのサツキがあることから、ネットであれこれ勉強してみました。そうすると、サツキは奥が深いことがわかりました。サツキと一言で言ってしまいましたが、サツキは正式には「サツキツツジ」と言うらしいです。校門モニュメントと体育館前にあるのは、サツキというよりツツジなのだと思います。それは5月の中旬頃に咲くからです。あとの箇所は6月に咲きます。サツキとツツジはよく似ていて見分けがつかせません。葉のうすさなど見分けるポイントがあるようですが、私などにはその見分けが難しく、開花時期だけが頼りです。5月に一気に咲くのがツツジ、6月に1～2週間かけてじっくり咲くのがサツキと覚えました。

昨年、はたしていつ剪定するのか、その剪定時期を勉強しました。ツツジもサツキも、花が終わってすぐに剪定することを学びました。もたもたして、夏や秋に剪定してはいけません。なぜならば、サツキたちには、花が咲き終わると、即来年の花の芽が育つからです。来年の花の芽が育つ前に剪定しなければならないのです。花が咲き終わるやいなや、この6月末までに剪定を終えると、その後来年の花の芽がいっぱい育ち、花がたくさん咲くというわけです。ネットで調べたこの教えを守り、昨年は6月末までに、ヘッジトリマーをかけました。すると、今年の5月と6月に、見事にたくさんの花が咲きました。こんな見事な花の付きを経験してしまうと、来年もぜひたくさん咲いてほしいと思ってしまいます。そこで、今年もこの6月にヘッジトリマーをかけ終えました。

芽が出る時期があるサツキのお話でしたが、人間に照らし合わせて考えてみました。学校とは、ついつい、一斉に同じことをすることを強いる場面が多いものです。芽が出る時期に合わせて剪定をするように、生徒一人一人の芽の出る時期が違うことを、私たち教員は承知しておかなければならないと思います。また、複数の子をもつ親も、一人一人の芽が出る時期は違うと承知しておかなければならないと思います。その子の芽の出る時期を見極めることが、その子を伸ばすことに繋がると、そんなことを考えさせられた次第です。

